

西光寺だより

第五十一号 平成二六年十一月一日発行

山々は美しく色づき、日に日に秋が深まる季節となつてまいりました。朝夕の冷え込みは、冬の訪れがもうすぐ来ること感じさせます。

暖をとる、という言葉がありますが、ひと昔前までは晩秋から冬にかけて家の庭先や町内で焚き火をたき、人々が集う姿が見られていたように思います。

最近では、火を使うことを禁止されている場所が多くなり、その風景を見ることがめつきり少なくなつてまいりましたが、焼き芋や焼き栗などを楽しみながら皆が集まる焚き火は、少し寂しくなる季節をやるわりと温めてくれていたように感じます。

パチパチと枯葉の燃える心地よい音、身体を温めてくれる火のぬくもり、実りの秋の美味しいおやつ、身近な人たちとの他愛ない会話、そんな何気ないひとつひとつ。人の心が温かくなる方法は、実はこんなやさやかなひとコマからなのかもしれません。

現代日本では、様々な条例によつて焚き火でさえも禁止されるようになってきたことは、少し残念な気がします。

私達は、個々の快適さを求めるあまり、心の豊かさを少しずつ失つてきているのかもしれない。しかし、そういう今だからこそ子や孫にも伝えていける人のぬくもりを改めて共に考えてまいりましょう。

手と手を握ること、いっぱい愛情で抱きしめること、笑いあえること、ともに涙すること、同じ季節を楽しめること、そして、今ここにいられること。当たり前のようにある目の前のことを大切にしていりましょう。周りにいてくれる人たちを大切にしていりましょう。

そして、何よりも自分自身を大切にいたしましょう。今日は、自分自身を温かく見てあげてください。その温かさはきつと焚き火のように周りをも温めてくれることでしょう。



◆十一月・十二月の行事◆

・十一月 二十三日（日）

西光寺報恩講法要

午後二時・七時

西光寺本堂

◎御法話 本願寺派布教使

和氣 秀剛 師

（奈良県 圓光寺）

・十二月 八日（月）～九日（火）

茨木東組念仏奉仕団

京都 西本願寺

・十二月 三十一日（水）

除夜の鐘

西光寺

●前進座公演『如月の華』―九條武子ものがたり―

(九條武子夫人 九〇回忌 お待ち受け企画)

（案内について）

今般、仏教婦人会の創設や社会福祉事業にご尽力なされました九條武子さまを描いた標記公演が前進座特別公演として、全国で上映されることになり、宗派として後援することとなりました。

これは、本願寺第二十一代門主・明如上人の次女として生まれ、与謝野晶子・柳原白蓮とともに大正の三大女流歌人と謳われた九條武子夫人のかなしくも美しいものがたりです。

武子夫人は、仏教婦人会を創設し本部長に就任、同会運営の重責を果たされ、仏教主義に基づく京都女子専門学校（現・京都女子学園、京都女子大学）を設立。また、大正十二年九月一日の関東大震災で自身も被災するが一命を取りとめ、全壊した築地本願寺の再建、震災による負傷者・孤児の救援活動（「あそか病院」などの設立）などさまざまな事業を推進されました。そして、女子教育・女性の地位向上へと、四十二年の短い生涯を捧げられました。如月（二月）七日は、夫人の命日であります。

なお、大阪での公演のうち、茨木東組で枚数がございます。ご観劇料金は通常一等席は九〇〇〇円でございますが、お弁当付きで八〇〇〇円でご案内させていただきます。日時と場所は、

・平成二十七年二月二十一日（土）昼の部（十一時開演、十四時終演予定）

・大阪日本橋 国立文楽劇場でございます。

つきましては、西光寺では是非とも、ご門徒の皆様方とご一緒に観覧したいと思っておりますので、ご案内致します。詳しくは西光寺までご連絡下さい。よろしくお願い申し上げます。

合掌

この度、九條武子夫人を演じる今村文美様よりお手紙を頂戴しておりますので紹介させていただきます。

ご挨拶

この度は『如月の華』と題する九條武子様のご生涯を描いたお芝居で、武子様を勤めさせていただきます。劇団前進座の今村文美でございます。思えば前進座の皆様とのご縁は、吉川英治先生の『親鸞』五木寛之先生の『蓮如』と続く中、近作『法然と親鸞』で私は、恵信尼様を勤めさせて頂く幸せに恵まれました。

この度は本願寺にお生まれになり、仏教婦人会の発展や、京都女子大学の礎を築かれるなど、女性の地位向上のため奔走された九條武子様を勤めさせていただくことになりました。

九條武子様は、とりわけ関東大震災以降は自ら被災されながらも、多くの貧しい、苦しむ人々に手を差しのべられ、また、親を失った子や、生きる道を彷徨う人々を救済すべく、四十二歳で亡くなるまで精一杯に生き抜かれました。そうした武子様のご生涯を、共に生かされている多くの皆様に、今こそ届けたい、その思いで一杯でございます。力強くしなやかに生き抜かれた武子様を精一杯勤めさせていただきます。どうか多くの皆様でご覧いただけますよう、お力添えの程、心よりお願い申し上げます。

二〇一四年神無月

劇団前進座

今村文美

合掌

浄土真宗本願寺派 白毫山 西光寺

大阪府茨木市西河原一―七―二

電話 〇七二―六二二―四七九四

FAX 〇七二―六二二―九二九一

<http://www.osaka-saikouji.net/>